

施設通学部会 通学圏の検討について

■通学方法の考え方

- 可能な限り、全児童が自宅から学校まで30分以内で通学できることを目指す。＜アンケート調査結果より
※国の基準では、1時間以内を目安としている。
- 徒歩で30分以内に通学できない児童は、スクールバスで対応可能か検討する。
- スクールバスのサイズは、現在養老小学校で運用中のバスと同様とする。（最大定員49名）

■検討スケジュール

	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
施設通学部会		第1回					第2回						第3回								
再編準備委員会		↑		第3回			↑					(予定) 第4回	↑					(予定) 第5回	→	住民説明会	
事務局検討		↓		↓			↓					(予定) ↓	↓			個別対応方法の検討					
	徒歩圏の整理・バス台数の設定						バスの運行経路・集合場所の設定														

【高田中学校区】

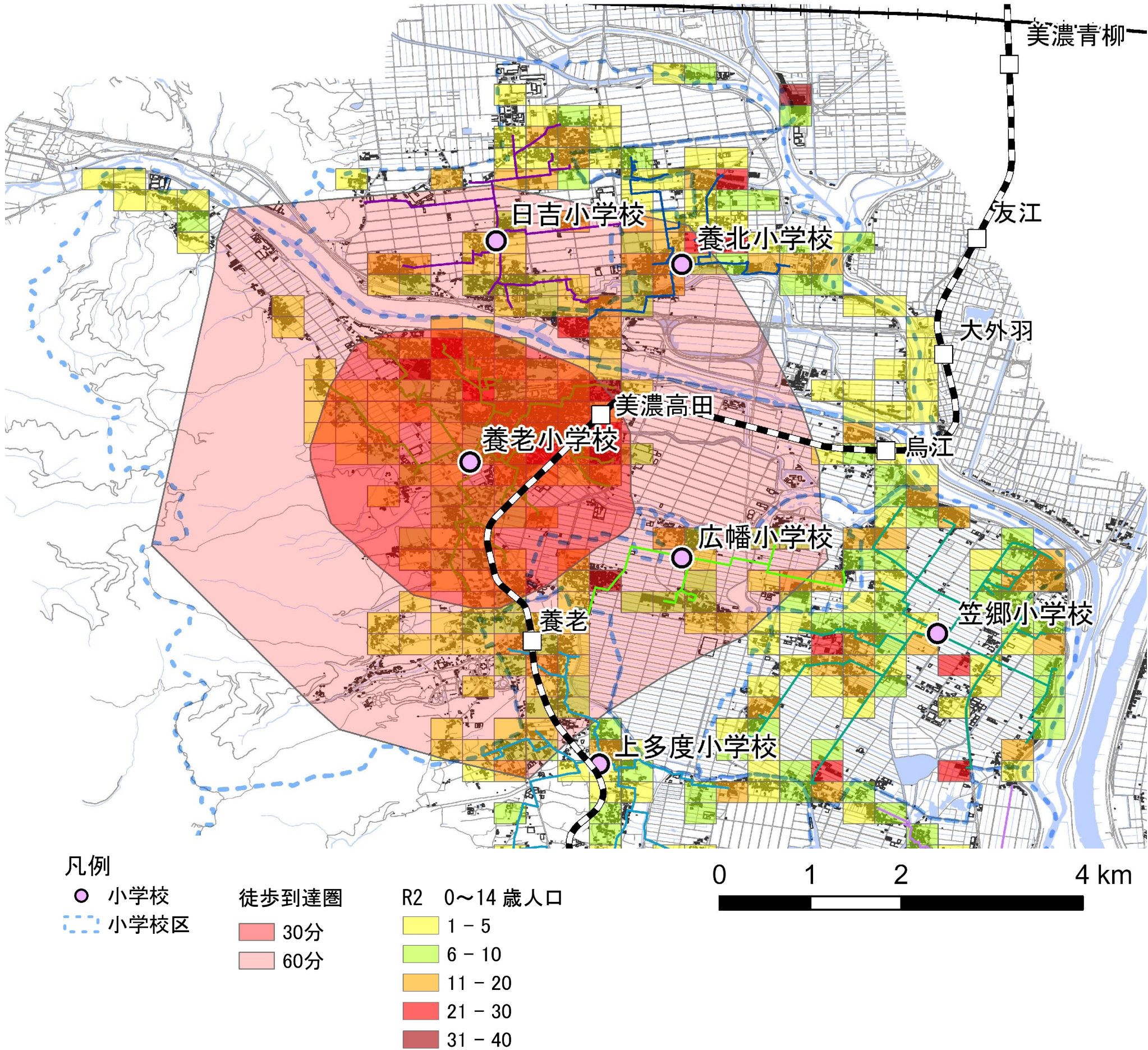
令和12年度 児童数の推計

学校名	児童数(人)
養老小学校	181
養北小学校	71
日吉小学校	58
合計	310

- 養北小学校区、日吉小学校区はいずれも全域が徒歩30分を超えるため、両小学校区の児童全員をスクールバスでの対応とすると、少なくとも129名の送迎が必要である。

1車両最大49名乗車できるため、
 $129 \div 49 \div$ 最低3回転が必要である。
※車両は2台を想定する。

+現在、養老小学校で運用している分は
引き続き対応が必要なため、今後の検討に加える。



【東部中学校区】

令和12年度 児童数の推計

学校名	児童数(人)
広幡小学校	42
上多度小学校	48
池辺小学校	88
笠郷小学校	109
合計	287

- 概ね広幡小学校、上多度小学校、池辺小学校は徒歩30分を超えるため、全小学校区の児童全員をスクールバスでの対応とすると、少なくとも178名の送迎が必要である。

1車両最大49名乗車できるため、
 $178 \div 49 \div$ 最低4回転が必要である。
※車両は3台を想定する

